

■表記統一事項

- () カッコは全角
- 英数字は半角
- 時間表記は 00:00
- 「ふれ」→「振れ」
- 「とくに」→「特に」
- 「ふたたび」→「再び」
- 「ゆくえ」→「行方」
- ほど→約
- 機種依存文字に注意、ボリンジャーバンド「 -2σ 」の「-」
- ファイル名の最初に「m」を付与

記事番号：20250430

ファイル名

m2025043001

タイトル：最弱通貨となった豪ドルの回復余地を静観か

本日のポイント

米・ADP 雇用者数

日・住宅着工件数

昨日は、米国市場で主要株価指数3銘柄が揃って上昇となり、株高・金利安・原油安の相場展開となった。原油 WTI は 59.8 ドルまで前日から約 3%低下。一方の天然ガスは前日から 0.9%上昇。3.36 ドル台を回復した。主要貴金属5銘柄はすべてが下落となり、特に下げ幅の大きかったプラチナは、前日から約 1.5%低下。979 ドル台での推移となった。

為替市場は、オセアニア通貨が米国時間終盤にかけて下落し、最弱通貨となった。豪ドル円は 91.678 から 90.587 まで低下。時間足 200SMA のサポートラインを実態足で下抜けた。4 時間足では 20MA 上位から下位へと移行しており、日足では 20MA 直下にて方向感を模索している最中だ。本日の米国時間でも豪ドルが軟化していくのか、進行方向に注意したい。

本日の指標は、8:50 に日・鉱工業生産、日・小売業販売額、日・百貨店/スーパー販売額、10:00 に NZ・ANZ 企業信頼感、10:30 に豪・消費者物価指数、14:00 に日・景気動向指数、日・住宅着工件数、15:00 に南ア・マネーサプライ、16:55 に独・雇用統計、17:00 に独・実質 GDP、18:00 に欧・実質 GDP、20:00 に米・MBA 住宅ローン申請指数、21:00 に独・消費者物価指数、21:15 に米・ADP 雇用者数、21:30 に米・実質 GDP、加・実質 GDP、22:45 に米・シカゴ購買部協会指数、23:00 に米・個人所得が発表予定となっている。最弱通貨となった豪ドルの

回復余地を慎重に見極めたい。

記事番号：20250429

ファイル名

m2025042901

タイトル：最弱通貨となった米ドルの回復余地を注視か

本日のポイント

独・GFK 消費者信頼感調査

南ア・貿易収支

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がまちまちの展開となり、株価横ばい・金利安・原油安の相場展開となった。原油 WTI は 61.9 ドルまで約 2.08% 低下。一方の天然ガスは前日から約 5.5% 急騰し、3.31 ドル台を回復した。主要貴金属 5 銘柄はすべてが上昇となり、大きく値が伸びたプラチナは、前日から 1.84% 上昇。993 ドル台での推移となった。

為替市場は、米ドルが米国時間で最弱となった。ユーロドルは 1.1329 から 1.1423 まで上昇。時間足 200SMA の上値抵抗帯を上抜けた。4 時間足では 20MA 下位から上位へと移行しており、日足では 10MA に沿っての上昇トレンドが継続している。本日の欧州時間でも米ドルの上値が重くなるのか、方向性を見極めたい。

本日の指標は、15:00 に独・GFK 消費者信頼感調査、17:00 に欧・マネーサプライ、18:00 に欧・消費者信頼感調査、欧・景況感、21:00 に南ア・貿易収支、21:30 に米・卸売在庫、22:00 に米・S&P/ケースシラー住宅価格指数、23:00 に米・JOLTS 求人、米・コンファレンスボード消費者信頼感指数が発表予定となっている。最弱通貨となった米ドルの回復余地を慎重に見守りたい。

記事番号：20250428

ファイル名

m2025042801

タイトル：対円で上昇した米ドルの週明けの上伸性を注視か

本日のポイント

英・CBI 流通取引調査

米・ダラス連銀製造業活動指数

先週末は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって上昇となり、株高・金利安・原油高の相場展開となった。原油 WTI は 63.1 ドルまで約 0.58% 上昇。天然ガスも同様に上昇し、前日から 1.87% 上昇。3.16 ドルまで値を上げた。主要貴金属 5 銘柄はすべてが下落となり、特に下落幅の大きかったパラジウムは、前日から 1.21% 低下。939 ドル台まで落ち込んだ。

為替市場は、25日に発表された米・4月ミシガン大消費者信頼感指数が、前月の50.8から52.2へと改善したことで、米ドルが対円で上昇した。米ドル円は142.545から144.026まで上昇。時間足20MAに沿っての反発が見られた。4時間足では、20MA下位から上位へと移行しており、日足では10MAの上値抵抗帯を実体足で上抜けている。

本日の指標は、19:00に英・CBI流通取引調査、23:30に米・ダラス連銀製造業活動指数が予定されているが、これ以外に大きな指標発表や要人発言は特に予定されていない。対円で上昇した米ドルの週明けの上伸性を慎重に注視したい。

記事番号：20250425

ファイル名

m2025042501

タイトル：強含んだオセアニア通貨の上伸性を静観か

本日のポイント

加・小売売上高

米・ミシガン大消費者信頼感指数

昨日は、米国市場で主要株価指数3銘柄がそろって上昇となり、株高・金利安・原油高の相場展開となった。原油WTIは62.9ドルまで0.61%上昇。一方の天然ガスは前日から0.83%低下し、3.09ドル台での推移となった。主要貴金属5銘柄はまちまちの展開となり、大きく低下したプラチナは、前日から1.70%下落。965ドルまで値を下げた。

為替市場は、米国時間でオセアニア通貨高・米ドル安となった。豪ドル米ドルは0.6343から0.6413まで上昇。時間足ボリンジャーバンド-2 σ から+2 σ まで反発した。4時間足では下値と上値を切り下げつつも反発上昇が入り、日足では200EMA直下にてMAレジスタンスラインを上抜けるかのトライをしている最中だ。

本日の指標は、6:00に米・カシュカリ：ミネアポリス連銀総裁の発言、8:01に英・消費者信頼感調査、8:30に日・東京都都区消費者物価指数、15:00に英・小売売上高、17:00にスイス・シュレーゲルSNB総裁の発言、21:30に加・小売売上高、23:00に米・ミシガン大消費者信頼感指数、23:15に英・グリーンMPC委員の発言が予定されている。強含んだオセアニア通貨の上伸性を慎重に見極めたい。

記事番号：20250424

ファイル名

m2025042401

タイトル：軟化した日本円とスイスフランの下値余地に警戒か

本日のポイント

米・7年債入札

英・ロンバルデッリ BOE 副総裁の発言

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって上昇となり、株高・金利高・原油安の相場展開となった。原油 WTI は約 2.9%低下し、62.3 ドルまで下落。20MA からの反落が入った。天然ガスは前日から 0.5%低下。3.13 ドル台での推移となった。主要貴金属 5 銘柄はまちまちの展開となり、大きく上昇したシルバーは、前日から 1.97%上昇。33.4 ドルまで値を上げた。

為替市場は、スイスフランと日本円が米国時間で最弱となった。米ドルフランは 0.8167 から 0.8309 まで上昇。時間足 20MA に沿っての上昇が見られた。4 時間足では 75MA まで価格が急騰しており、日足では RSI が 26 から 40 までの反発となった。本日の米国時間でもスイスフランが軟化していくのか、十分に注意したい。

本日の指標は、15:00 に日・工作機械受注、15:45 に仏・消費者信頼感指数、17:00 に独・IFO 景況指数、21:00 に独・ナーゲル独連銀総裁の発言、21:30 に米・新規失業保険申請件数、米・耐久財受注、22:00 に英・ロンバルデッリ BOE 副総裁の発言、23:00 に米・中古住宅販売件数、23:30 に米・週間天然ガス貯蔵量、26:00 に米・7 年債入札が発表予定となっている。軟化した日本円とスイスフランの下値余地に警戒したい。

記事番号：20250423

ファイル名

m2025042301

タイトル：上値が重いユーロ円が欧州時間で回復するのか注視か

本日のポイント

欧・製造業/非製造業 PMI

米・グールズビー：シカゴ連銀総裁の発言

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって上昇となり、株高・金利安・原油高の相場展開となった。原油 WTI は約 2.6%上昇し、64.5 ドルを回復。一方の天然ガスは前日から 0.8%の低下となり、3.16 ドルまで値を下げた。主要貴金属 5 銘柄は銅以外が下落となり、唯一上昇した銅は、前日から 2.98%急騰。4.91 ドルを回復した。

為替市場は、昨日発表された欧・4 月消費者信頼感指数が、前月のマイナス 14.5 からマイナス 16.7 となったことで、ユーロが対円で下落した。他のクロス円が反発する中、ユーロ円は 162.308 から 160.992 まで下落。時間足 20MA に沿っての下降が見られた。4 時間足ではボリンジャーバンド+2 σ からの反落となり、日足では 200SMA に沿って上値を切り下げている最中だ。

本日の指標は、15:00 に英・公共部門ネット負債、16:30 に独・製造業/非製造業 PMI、17:00 に欧・製造業/非製造業 PMI、南ア・消費者物価指数、17:30 に英・製造業/非製造業 PMI、20:00 に米・MBA 住宅ローン申請指数、22:00 に米・グールズビー：シカゴ連銀総裁の発言、22:30 に米・ムサレム：セントルイス連銀総裁の発言、26:15 に英・ベイリーBOE 総裁の発言、27:00 に米・地区連銀経済報告（ページブック）が発表予定となっている。上値が重いユーロ円が欧州時間で回復するのか、方向性を注視したい。

記事番号：20250422

ファイル名

m2025042201

タイトル：10 日続伸したポンド米ドルの上値余地に注目か

本日のポイント

米・ハーカー：フィラデルフィア連銀総裁の発言

欧・ラガルド ECB 総裁の発言

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって下落となり、株安・金利高・原油安の相場展開となった。原油 WTI は 62.7 ドルまで約 0.48%低下。天然ガスは前日から約 0.19%上昇し、3.2 ドル台での推移となった。主要貴金属 5 銘柄はまちまちの展開となり、大きく上昇したゴールドは、前日から 3.13%急騰。3,494 ドルをタッチし、最高値を更新した。

為替市場は、ポンドが対米ドルで強含んだ。ポンド米ドルは 1.3269 から 1.3421 まで上昇。時間足ボリンジャーバンド+3 σ に沿ってのバンドウォークが見られた。4 時間足では RSI が 81.2 まで上昇。日足では 10 日続伸した。このままポンドが対米ドルで上伸していくのか、欧州時間での方向性に注目したい。

本日の指標は、21:30 に加・鉱工業製品価格、22:00 に米・ジェファースン FRB 副議長の発言、22:30 に米・ハーカー：フィラデルフィア連銀総裁の発言、23:00 に欧・消費者信頼感指数、米・リッチモンド連銀製造業指数、欧・ラガルド ECB 総裁の発言、26:00 に米・2 年債入札、26:40 に米・カシュカリ：ミネアポリス連銀総裁の発言、27:30 に米・バーキン：リッチモンド連銀総裁の発言が予定されている。10 日続伸したポンド米ドルの上値余地に注目したい。

記事番号：20250421

ファイル名

m2025042101

タイトル：終日弱含んだ NZ ドルの下値余地に要警戒か

本日のポイント

米・グールズビー：シカゴ連銀総裁の発言

NZ・貿易収支

先週末は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がグッドフライデーによる祝日のため休場となり、金利高・原油高の相場展開となった。原油 WTI は 63.7 ドルまで約 2.3% 上昇。一方の天然ガスは 3.24 ドル台を挟んでの平行推移となった。主要貴金属 5 銘柄はまちまちの展開となり、大きく低下したシルバーは、前日から 1.12% 低下。32.5 ドル付近まで値を下げた。

為替市場は、アジア時間から米国時間にかけてオセアニア通貨が弱含んだ。NZ ドルは対円で下落。85.015 から 84.212 まで値を下げた。4 時間足では 200SMA 上抜けからのリテストが入る形で反落。日足では 75MA タッチに届く前に反落が入る形となった。このまま NZ ドルが対円で弱含んで行くのか、週明けの値動きに注意したい。

10:00 に中・最優遇貸出金利（ローンプライムレート）、21:30 に米・グールズビー：シカゴ連銀総裁の発言、23:00 に米・景気先行指数、翌 7:45 に NZ・貿易収支が発表予定となっている。終日弱含んだ NZ ドルの下値余地に十分警戒したい。

記事番号：20250418

ファイル名

m2025041801

タイトル：強含んだオセアニア通貨の上値余地を注視か

本日のポイント

日・消費者物価指数

米・デیلیー：サンフランシスコ連銀総裁の発言

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がまちまちの展開となり、株価横ばい・金利高・原油高の相場展開となった。原油 WTI は 63.7 ドルまで約 2.3% 上昇。天然ガスは 3.24 ドル付近で横ばい推移をしている。主要貴金属 5 銘柄はまちまちの展開となり、大きく下落したシルバーは、前日から 1.2% 低下。32.5 ドル台まで落ち込んだ。

為替市場は、オセアニア通貨が米国時間で最強となった。豪ドル円は 90.155 から 91.160 まで上昇。時間足 20MA 下位から上位へと移行した。4 時間足では 20MA 直下にてウェッジを形成しつつあり、日足では RSI が 22 からの回復基調となっている。このままオセアニア通貨が対円で上伸していくのか、米国時間での値動きに注視したい。

本日の指標は、8:30 に日・消費者物価指数、24:00 に米・デیلیー：サンフランシスコ連銀総裁の発言が予定されているが、本日は欧米主要各国がグッドフライデーの祝日により休場となっているため、それ以外の目立った重要指標は予定されていない。強含んだオセアニア通貨の上値余地を慎重に見極めたい。

記事番号：20250417

ファイル名
m2025041701

タイトル：米国時間で強含んだスイスフランの上値余地を注視か

本日のポイント
日・通関ベース貿易収支
欧・ECB 政策金利と声明発表

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって下落となり、株安・金利安・原油高の相場展開となった。原油 WTI は 62.0 ドルまで約 2.3% 上昇。一方の天然ガスは前日から 1.0% 低下し、3.25% まで落ち込んだ。主要貴金属 5 銘柄はすべてが上昇となり、特に上げ幅の大きかったゴールドは、前日から 2.4% 急騰。3,357 ドルをタッチし、最高値を更新した。

為替市場は、弱含んでいたスイスフランが昨日の米国時間で最強通貨となった。フラン円は 173.603 から 175.051 まで上昇。時間足 20MA をまたいでの値動きが見られた。4 時間足でも時間足同様に 20MA をまたいでの変動に終始した。日足ではボリンジャーバンド +3 σ からの反落後、再びの上昇が見られているフェーズとなっている。

本日の指標は、7:45 に NZ・消費者物価指数、8:50 に日・通関ベース貿易収支、日・対外/対内証券投資、10:30 に豪・雇用統計、15:00 に独・生産者物価指数、21:15 に欧・ECB 政策金利と声明発表、21:30 に米・新規失業保険申請件数、加・国際証券取扱高、米・住宅着工件数、米・フィラデルフィア連銀景況指数、21:45 に欧・ラガルド ECB 総裁の記者会見、23:30 に米・週間天然ガス貯蔵量、24:45 に米・バーFRB 理事の発言が発表予定となっている。米国時間で強含んだスイスフランの上値余地を慎重に注視したい。

記事番号：20250416
ファイル名
m2025041601

タイトル：CPI 低下で下落した加ドルの下値余地に要警戒か

本日のポイント
豪・Westpac 先行指数
米・MBA 住宅ローン申請指数

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって下落となり、株安・金利安・原油安の相場展開となった。原油 WTI は 60.7 ドルまで約 1.6% 下落。天然ガスも同様に下落となり、3.29 ドルまで低下した。主要貴金属 5 銘柄はまちまちの展開となり、大きく上昇したパラジウムは、前日から 2.6% 上昇。978 ドルまで回復した。

為替市場は、昨日発表された加・3 月消費者物価指数（CPI）が、前年比で前月の 2.6% から 2.3% に低下したことで、加ドルが対円で下落した。加ドル円は 103.485 から 102.386 まで下落。時間足 200EMA からの反落とな

った。4 時間足では 200SMA に上値を抑えられており、日足では今月安値更新が視野に入ってきている状況だ。

本日の指標は、8:50 に日・機械受注、9:30 に豪・Westpac 景気先行指数、15:00 に英・消費者物価指数、英・小売物価指数、17:00 に欧・経常収支、18:00 に欧・消費者物価指数、20:00 に米・MBA 住宅ローン申請指数、南ア・小売売上高、21:30 に米・小売売上高、22:15 に米・鉱工業生産、22:45 に加・BOC 政策金利と声明発表、23:00 に米・企業在庫、米・NAHB 住宅市場指数、23:30 に加・マックレム BOC 総裁の記者会見、米・週間原油在庫、26:30 に米・パウエル FRB 議長の発言が予定されている。CPI 低下で下落した加ドルの下値余地に十分警戒したい。

記事番号：20250415

ファイル名

m2025041501

タイトル：弱含んだユーロが回復を見せるのか米国時間での値動きに注目か

本日のポイント

英・雇用統計

独・ZEW 景況感指数

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって上昇となり、株高・金利安・原油横ばいの相場展開となった。原油 WTI は 61 ドル付近にて小動きとなった。一方の天然ガスは前日から約 3.6% 低下し、3.34 ドルまで値を下げた。主要貴金属 5 銘柄はゴールド以外が上昇となり、唯一反落したゴールドは、前日から約 0.19% 下落。3,226 ドル台での推移となった。

為替市場は、ユーロが米国時間で弱含んだ。ユーロ円は 163.277 から 162.082 まで下落。時間足 20MA を上位から下位へと移行した。4 時間足では依然 20MA に下値を支えられる形で推移している一方、日足ではレジスタンスとなっていた 200SMA を実体足で上抜けリテストが入っている状況だ。本日の米国時間でユーロが回復するのか、注視したい。

本日の指標は、8:01 に英・BRC 既存店売上高、10:30 に豪・RBA 議事録公表、15:00 に英・雇用統計、18:00 に独・ZEW 景況感指数、欧・ZEW 景況感指数、欧・鉱工業生産、21:15 に加・住宅着工件数、21:30 に加・製造業売上高、米・NY 連銀製造業景気指数、加・消費者物価指数、米・輸入物価指数、22:00 に加・中古住宅販売件数が発表予定となっている。弱含んだユーロが回復を見せるのか、米国時間での値動きに注目したい。

記事番号：20250414

ファイル名

m2025041401

タイトル：週末に上昇した NZ ドル円の上値余地を注視か

本日のポイント

米・ウォラーFRB 理事の発言

日・鉱工業生産

先週末は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって上昇となり、株高・金利高・原油高の相場展開となった。原油 WTI は前日から約 2.4%値を上げ 61.4 ドルまで回復。天然ガスも同様に小反発が見られた。主要貴金属 5 銘柄はすべてが上昇となり、特に上げ幅の大きかったシルバーは、前日から 3.18%急騰。32.2 ドルまで回復した。

為替市場は、NZ ドルが米国時間で強含んだ。NZ ドル円は 82.254 から 83.804 まで上昇。時間足 75MA に下値をサポートされての反発が見られた。4 時間足では 20MA へのタッチで反発が入っており、日足ではボリンジャーバンド-3 σ からの反発が見られている。このまま NZ ドルが対円で上昇していくのか、欧州時間での値動きに注目したい。

本日の指標は、13:30 に日・鉱工業生産、15:30 にスイス・生産者輸入価格、21:30 に加・卸売売上高、25:00 に米・バーキン：リッチモンド連銀総裁の発言、26:00 に米・ウォラーFRB 理事の発言、翌 7:00 に米・ハーカー：フィラデルフィア連銀総裁の発言が予定されている。週末に上昇した NZ ドル円の上値余地を慎重に見極めたい。

記事番号：20250411

ファイル名

m2025041101

タイトル：年初来安値を更新した米ドル円の下値余地に要警戒か

本日のポイント

米・ウィリアムズ：NY 連銀総裁の発言

独・消費者物価指数

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって下落となり、株安・金利高・原油安の相場展開となった。原油 WTI は 59.7 ドルまで約 2.8%下落。天然ガスも同様に下落しており、前日から 4.7%低下し、3.53 ドルまで値を下げた。主要貴金属 5 銘柄はまちまちの展開となり、大きく上昇したゴールドは、前日から約 2.9%急騰。3,216 ドルまで急騰し、史上最高値を更新した。

為替市場は、昨日発表された米・3 月消費者物価指数（CPI）が、前年比で 2.8%から 2.4%に低下し、食品とエネルギーを除くコア指数も低下したことで、米ドルが対円で下落した。米ドル円は 147.693 から 144.016 まで下落。時間足 200SMA からの反落が入った。4 時間足ではボリンジャーバンド-2 σ まで価格が低下しており、日足では年初来安値を更新。RSI が再び 32 まで下落している。

本日の指標は、8:50 に日・マネーストック、15:00 に英・月次 GDP、独・消費者物価指数、15:00 に英・鉱工業生産、英・製造業生産高、英・貿易収支、18:45 に欧・ラガルド ECB 総裁の発言、21:30 に米・生産者物価指数、23:00 に米・ミシガン大消費者信頼感指数、米・ムサレム：セントルイス連銀総裁の発言、24:00 に米・ウィリアムズ：NY 連銀総裁の発言が予定されている。年初来安値を更新した米ドル円の下値余地に十分警戒したい。

記事番号：20250410

ファイル名

m2025041001

タイトル：0.25%利下げ実施も対円で上昇した NZ ドルの方向性に注意か

本日のポイント

米・新規失業保険申請件数

南ア・製造業生産高

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって上昇となり、株高・金利安・原油高の相場展開となった。原油 WTI は節目の 60 ドル台を回復し、前日から約 8.2% 上昇。天然ガスも同様に上昇となり、3.7 ドル台まで伸びた。主要貴金属 5 銘柄はすべてが上昇となり、特に上げ幅の大きかった銅は、前日から 7.6% 上昇。4.43 ドル台を回復した。

為替市場は、昨日発表された RBNZ 政策金利発表にて、3.75% から 3.50% に 0.25 ポイントの利下げが実施されたにも関わらず、NZ ドルが対円で上昇した。NZ ドル円は 79.806 から 83.751 まで上昇。時間足 200SMA 直下まで価格が回復した。4 時間足では RSI が 32 から 57 まで上昇。日足ではボリンジャーバンド -3 σ から中心線に向けての回帰が見られている。

本日の指標は、8:01 に英・RICS 住宅価格指数、8:50 に日・国内企業物価、日・対外/対内証券投資、19:00 に豪・ブロック RBA 総裁の総裁の発言、20:00 に南ア・製造業生産高、21:30 に米・新規失業保険申請件数、米・消費者物価指数、加・住宅建設許可、22:00 に米・ブリーデン BOE 副総裁の発言、23:00 に米・ボウマン FRB 理事の発言、23:30 に米・週間天然ガス貯蔵量が発表予定となっている。0.25% 利下げ実施も対円で上昇した NZ ドルの方向性に注意したい。

記事番号：20250409

ファイル名

m2025040901

タイトル：下値を掘り下げた豪ドル円の下伸性に注意か

本日のポイント

米・卸売在庫

NZ・RBNZ 政策金利と声明発表

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって下落となり、株安・金利高・原油安の相場展開となった。原油 WTI は 57.2 ドルまで 6.7%急落。天然ガスも同様に下落し、前日から 4.9%低下。3.50 ドル台まで落ち込んだ。主要貴金属 5 銘柄はすべてが下落となり、特に下落幅の大きかった銅は、前日から 4.5%低下。4.13 ドル付近へと値を下げた。

為替市場は、豪ドルが米国時間終盤で最弱通貨となった。豪ドル円は 89.664 から 86.870 まで下落。時間足 75MA タッチからの反落が入った。4 時間足では 20MA に沿っての下降トレンドが継続しており、日足ではボリンジャーバンド-3 σ に沿ってのバンドウォークとなっている。なお本日のアジア時間でも下値を掘り下げているため、豪ドルのさらなる軟化に注意したい。

本日の指標は、11:00 に NZ・RBNZ 政策金利と声明発表、14:00 に日・消費者態度指数、15:15 に日・植田日銀総裁の発言、20:00 に米・MBA 住宅ローン申請指数、23:00 に米・卸売在庫、23:30 に米・週間原油在庫、24:00 に米・バーキン：リッチモンド連銀総裁の発言、26:00 に米・10 年債入札、27:00 に米・FOMC 議事録公表が予定されている。下値を掘り下げた豪ドル円の下伸性に注意したい。

記事番号：20250408

ファイル名

m2025040801

タイトル：上昇したスイスフランの上値余地を静観か

本日のポイント

日・景気ウォッチャー調査

豪・NAB 企業景況感

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がまちまちの展開となり、株価横ばい・金利高・原油高の相場展開となった。原油 WTI は 61.3 ドル台での小幅推移となった一方、天然ガスは前日から約 3.1%低下し、3.65 ドル台まで値を下げた。主要貴金属 5 銘柄はすべてが下落となり、特に下げ幅の大きかったシルバーは、前日から約 1.7%低下。30.0 ドルまで落ち込んだ。

為替市場は、スイスフランが終日強含んだ。フラン円は 169.559 から 172.797 まで上昇。時間足 20MA に沿っての上昇が見られた。4 時間足では 10MA に下値をサポートされてのトレンドが形成されており、日足ではレジスタンスとなり得た 200SMA 直下までローソク足が急進している。このまま本日の欧州時間でもスイスフランが躍進するのか、注目したい。

本日の指標は、8:50 に日・国際収支、9:30 に豪・Westpac 消費者信頼感指数、10:30 に豪・NAB 企業景況感、14:00 に日・景気ウォッチャー調査、15:45 に仏・貿易収支、仏・経常収支、19:00 に米・NFIB 中小企業楽観指

数、23:00 に加・Ivey 購買部協会指数、25:00 に英・ロンバルデッリ BOE 副総裁の発言、26:00 に米・3 年債入札が発表予定となっている。上昇したスイスフランの上値余地を慎重に静観したい。

記事番号：20250407

ファイル名

m2025040701

タイトル：加・雇用統計悪化にて下落した加ドル円の下伸性に警戒か

本日のポイント：

独・鋳工業生産

欧・小売売上高

先週末は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって大幅下落となり、株安・金利安・原油安の相場展開となった。原油 WTI は 62.3 ドルまで約 6.3%低下。天然ガスにいたっては前日から 7.7%下落し、3.81 ドル台まで値を下げた。主要貴金属 5 銘柄はすべてが下落となり、特に下げ幅の大きかった銅は、前日から 8.65%急落。4.39 ドル付近へと下落した。

為替市場は、4 日に発表された加・3 月雇用統計にて、失業率が前月の 6.6%から 6.7%に 0.1 ポイント悪化し、雇用者数が市場予想の 0.90 万人に届かずマイナス 3.26 万人となったことで、加ドルが対円で下落した。加ドル円は 104.116 から 101.885 まで下落。時間足ボリンジャーバンド-3 σ を突破した。4 時間足では 20MA に上値をレジストされており、日足では 75MA より下位での推移が継続している。

本日の指標は、8:30 に日・毎月勤労統計 - 現金給与総額、14:00 に日・景気動向指数、15:00 に独・鋳工業生産、独・貿易収支、英・ハリファックス住宅価格、18:00 に欧・小売売上高、23:30 に米・クーグラーFRB 理事の発言、28:00 に米・消費者信用残高が発表予定となっている。加・雇用統計悪化にて下落した加ドル円の下伸性に警戒したい。

記事番号：20250404

ファイル名

m2025040401

タイトル：大幅下落となった米ドルフランの下伸性に注目か

本日のポイント

米・雇用統計

日・全世帯家計調査

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって大幅下落となり、株安・金利安・原油安のトリプル安相場と

なった。原油 WTI は 66.3 ドルまで約 4.8%低下。一方の天然ガスは前日から 3.3%上昇し、4.12 ドル台まで回復している。主要貴金属 5 銘柄はすべてが下落となり、特に下げ幅の大きかったシルバーは、前日から 5.02%下落。31.5 ドルまで値を下げた。

為替市場は、下落した米ドルと対照的にスイスフランが強含んだ。米ドルフランは 0.8817 から 0.8547 まで下落。時間足ボリンジャーバンド-2 σ に沿っての下落トレンドが発生した。4 時間足では RSI が 12 まで低下。日足では昨年 9 月末以来の低水準まで下落している。このままスイスフランが勢力を維持していくのか、欧州時間での値動きに注目したい。

本日の指標は、8:30 に日・全世帯家計調査、15:00 に独・製造業新規受注、15:45 に仏・鉱工業生産、仏・製造業生産指数、17:30 に英・建設業 PMI、21:30 に加・雇用統計、米・雇用統計、24:25 に米・パウエル FRB 議長の発言、25:00 に米・バーFRB 理事の発言、25:45 に米・ウォラーFRB 理事の発言が予定されている。大幅下落となった米ドルフランの下伸性に注目したい。

記事番号：20250403

ファイル名

m2025040301

タイトル：日足 200SMA に上値を抑えられた米ドル円の下値余地に要注意か

本日のポイント

豪・貿易収支

独・非製造業 PMI

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって上昇となり、株高・金利安・原油安の相場展開となった。原油 WTI は 69.5 ドルまで約 1.8%低下。一方の天然ガスは前日から 1.0%上昇。3.99 ドル台を回復した。主要貴金属 5 銘柄はまちまちの展開となり、大きく低下したパラジウムは、前日から 3.68%下落。968 ドルまで値を下げた。

為替市場は、昨日発表された米・3 月 ADP 雇用者数が、前月の 7.7 万人から市場予想の 12.0 万人を上振れ 15.5 万人となったことで、米ドルが対円で往って来いとなった。米ドル円は 149.104 から 150.461 の間で推移。時間足 20MA をまたいでの値動きとなった。4 時間足では 200EMA 直下までローソク足が上昇後、レジストされている状況だ。日足では 200SMA が依然上値抵抗帯として機能している。

本日の指標は、8:50 に日・対外/対内証券投資、9:30 に豪・貿易収支、16:55 に独・非製造業 PMI、17:00 に欧・サービス業 PMI、17:30 に英・サービス業 PMI、18:00 に欧・生産者物価指数、20:30 に米・チャレンジャー人員削減数、欧・ECB 議事要旨公表、21:30 に米・新規失業保険申請件数、米・貿易収支、加・国際商品貿易、22:45 に米・PMI 購買担当者景気指数、23:00 に米・ISM 非製造業景気指数、25:30 に米・ジェファークソン FRB 副議長の発言が予定されている。日足 200SMA に上値を抑えられた米ドル円の下値余地に十分注意したい。

記事番号：20250402

ファイル名

m2025040101

タイトル：上値が限定されたポンド円の回復余地を静観か

本日のポイント

米・トランプ大統領の発言

豪・ケント RBA 総裁補佐の発言

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がまちまちの展開となり、株価横ばい・金利安・原油安の相場展開となった。原油 WTI は 71.2 ドルまで約 0.58%低下。天然ガスに至っては前日から約 4.66%低下し、3.94 ドルまで値を下げた。主要貴金属 5 銘柄はすべてが下落となり、特に下げ幅の大きかったプラチナは、前日比マイナス 1.68% の 1,008 ドルまで下落した。

為替市場は、昨日発表された英・3 月製造業 PMI の確報値が、前月の 44.6 から 44.9 に上振れたにも関わらず、ポンドが対円で小幅に下落した。ポンド円は 193.910 から 192.208 まで下落。時間足 20MA をまたいでの値動きが見られた。4 時間足では 75MA 付近にて方向感を模索しており、日足では 20MA のサポートライン下抜けに入るかの瀬戸際となっている。

本日の指標は、6:45 に NZ・住宅建設許可、8:25 に豪・ケント RBA 総裁補佐の発言、9:30 に豪・住宅建設許可件数、15:45 に仏・財政収支、20:00 に米・MBA 住宅ローン申請指数、21:15 に米・ADP 雇用統計、23:00 に米・製造業受注指数、23:30 に米・週間原油在庫、29:00 に米・トランプ大統領の発言、29:30 に米・クーグラ FRB 理事の発言が予定されている。上値が限定されたポンド円の回復余地を慎重に静観したい。

記事番号：20250401

ファイル名

m2025040101

タイトル：RBA 政策金利据え置きとなった豪ドルの変動幅を静観か

本日のポイント

豪・RBA 政策金利と声明発表

欧・ラガルド ECB 総裁の発言

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がまちまちの展開となり、株価横ばい・金利高・原油高の相場展開となった。原油 WTI は 71.6 ドルまで約 3.7%上昇。一方の天然ガスは前日から約 0.98%低下。4.14 ドルまで下落した。主要貴金属 5 銘柄はまちまちの展開となり、大きく上昇したプラチナは、前日から 2.48%上昇。1,025 ドル

まで急騰した。

為替市場は、本日発表された豪・RBA 政策金利発表にて、政策金利が市場コンセンサス通り 4.10%の据え置きとなったことで、豪ドルが対円で往って来いとなった。豪ドル円は 93.042 から 94.133 の間で推移。時間足 20MA をまたいでの値動きとなった。4 時間足では RSI が 27 からの反発となっており、日足では 93 円台後半から 94 円台での推移が約半月維持されている。

本日は、8:30 に日・失業率、日・第 1 四半期日銀短観、9:30 に豪・小売売上高、12:30 に豪・RBA 政策金利と声明発表、13:30 に豪・ブロック RBA 総裁の発言、15:00 に英・ネーションワイド住宅価格、15:30 にスイス・小売売上高、17:15 に英・グリーン MPC 委員の発言、18:00 に欧・消費者物価指数、21:30 に欧・ラガルド ECB 総裁の発言、22:00 に米・バーキン：リッチモンド連銀総裁の発言、23:00 に米・ISM 製造業景況指数、米・JOLTS 求人が発表予定となっている。RBA 政策金利据え置きとなった豪ドルの変動幅を慎重に静観したい。

記事番号：20250331

ファイル名

m2025033101

タイトル：終日強さを維持した日本円の上伸性に注目か

本日のポイント

日・鉱工業生産

NZ・ANZ 企業信頼感

先週末は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって下落となり、株安・金利安・原油安の相場展開となった。原油 WTI は 69.0 ドルまで約 1.20%下落。一方の天然ガスは前日から 4.39%急騰し、4.09 ドル台まで値を上げた。主要貴金属 5 銘柄はまちまちの展開となり、唯一上昇したゴールドは、前日から 0.99%上昇。3,085 ドルを突破。史上最高値を更新した。

為替市場は、日本円が終日最強通貨となった。特に弱含んだオセアニア通貨に対し、円は上昇。NZ ドル円は 86.680 から 85.495 まで下落した。4 時間足ではボリンジャーバンド+3 σ からの反落が入っており、-3 σ まで低下している。日足では 75MA が上値抵抗帯となっており、レジストされての反落が入っている。

本日の指標は、8:50 に日・鉱工業生産、日・小売業販売額、日・百貨店スーパー販売額、9:00 に NZ・ANZ 企業信頼感、14:00 に日・住宅着工件数、15:00 に独・輸入物価指数、独・小売売上高、南ア・マネーサプライ、21:00 に独・消費者物価指数、22:45 に米・シカゴ購買部協会景気指数、23:30 に米・ダラス連銀製造業活動指数が発表予定となっている。終日強さを維持した日本円の上伸性に注目したい。

記事番号：20250328

ファイル名

m2025032701

タイトル：弱含んだ日本円が回復するのか、月末金曜日の値動きを注視か

本日のポイント：

米・PCE デフレーター

独・雇用統計

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって下落となり、株安・金利横ばい・原油横ばいの相場展開となった。原油 WTI は 69.6 ドル付近で推移。一方の天然ガスは前日から 1.22%ほど上昇し、3.90 ドル台まで値が伸びた。主要貴金属 5 銘柄は銅以外が上昇となり、唯一下落した銅は、前日から 2.85%低下し 5.08 ドル台まで落ち込んだ。

為替市場は、米国時間にかけて日本円が最弱通貨となった。ユーロ円は 161.383 から 163.359 まで上昇。時間足 RSI が 30 から 70 まで上向いた。4 時間足では 75MA に下値をサポートされての反発が入っており、日足では 200SMA の上値抵抗帯を上抜けるかの最中にある。このまま円安傾向が継続していくのか、週末米国時間での値動きに警戒したい。

本日の指標は、8:30 に日・東京消費者物価指数、16:00 に英・貿易収支、英・実質 GDP、英・経常収支、英・小売売上高、独・GfK 消費者信頼感指数、17:55 に独・雇用統計、19:00 に欧・消費者信頼感指数、21:30 に加・実質 GDP、米・個人所得、米・PCE デフレーター、23:00 に米・ミシガン大消費者信頼感指数、25:15 に米・バー：FRB 議長の発言が予定されている。弱含んだ日本円が回復するのか、月末金曜日の値動きを注視したい。

記事番号：20250327

ファイル名

m2025032701

タイトル：英 CPI 低下で上値が限定されたポンドの回復余地を静観か

本日のポイント

米・実質 GDP

南ア・生産者物価指数

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって下落となり、株安・金利高・原油高の相場展開となった。原油 WTI は 69.7 ドルまで約 0.83%上昇。一方の天然ガスは前日から約 1.02%低下し、3.86 ドル台まで値を下げた。主要貴金属 5 銘柄はまちまちの展開となり、大きく上昇したパラジウムは、前日から 1.57%上昇。970 ドル台を回復した。

為替市場は、昨日発表された英・2 月消費者物価指数（CPI）が、前年比で前月の 3.0%から 2.8%に低下し、コア前年比も同様に低下したことで、ポンドが対円で下落した。ポンド円は 194.788 から 193.471 まで下落。時間足 20MA 上位から下位へと移行した。4 時間足では 20MA をまたいでの方向感を模索している最中となっており、日足では 200SMA の上抜けを試みている最中だ。

本日の指標は、8:50 に日・対外/対内証券投資、18:00 に欧・マネーサプライ、18:30 に南ア・生産者物価指数、21:30 に米・新規失業保険申請件数、米・実質 GDP、米・PCE デフレーター、米・卸売在庫、米・新規失業保険申請件数、23:00 に米・中古住宅販売成約指数、24:00 に米・カンザスシティ連銀製造業活動指数、27:05 に欧・ラガルド ECB 総裁の発言が発表予定となっている。英 CPI 低下で上値が限定されたポンドの回復余地を静観したい。

記事番号：20250326

ファイル名

m2025032601

タイトル：上値が限定された米ドルの回復性を注視か

本日のポイント

米・カシュカリ：ミネアポリス連銀総裁の発言

日・企業向けサービス価格指数

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって上昇となり、株高・金利横ばい・原油横ばいの相場展開となった。原油 WTI は 69.1 ドル台で推移。天然ガスは前日から約 1.54% 低下。3.90 ドル台まで値を下げた。主要貴金属 5 銘柄はすべてが上昇となり、特に上げ幅の大きかった銅は、前日から 2.61% 上昇し、5.24 ドル台まで値を上げた。

為替市場は、昨日発表された米・3 月コンファレンスボード消費者信頼感指数が、前月の 98.3 から 92.9 まで落ち込んだことで、米ドルが対円で下落した。米ドル円は 150.931 から 149.558 まで下落。時間足 20MA 上位から下位へと移行した。4 時間足では 200SMA へのリテストが入っている状況で、日足では RSI が 55 から 50 まで低下している。

本日の指標は、8:50 に日・企業向けサービス価格指数、9:30 に豪・消費者物価指数、14:00 に日・景気動向指数、16:00 に英・消費者物価指数、英・小売物価指数、英・生産者物価指数、20:00 に米・MBA 住宅ローン申請指数、21:30 に米・耐久財受注、23:00 に米・カシュカリ：ミネアポリス連銀総裁の発言、23:30 に米・週間原油在庫、26:00 に米・5 年債入札が発表予定となっている。上値が限定された米ドルの回復性を注視したい。

記事番号：20250325

ファイル名

m2025032501

タイトル：原油上昇とともに上向いたオセアニア通貨の上伸性に注目か

本日のポイント：

米・S&P/ケースシラー住宅価格

米・コンファレンスボード消費者信頼感指数

昨日は、米国市場で主要株価指数3銘柄がそろって上昇となり、株高・金利高・原油高の相場展開となった。原油 WTI は 69.0 ドルまで約 1.46% 上昇。天然ガスも同様に値を上げ、一時節目の 4 ドルを突破し 4.05 ドルまで上昇した。主要貴金属5銘柄はすべてが下落となり、特に下げ幅の大きかったプラチナは、前日から 1.77% 低下し、964 ドル台まで落ち込んだ。

為替市場は、米国時間終盤にかけてオセアニア通貨が最強となった。豪ドル円は 93.569 から 94.719 まで上昇。時間足 20MA 下位から上位へと移行した。4 時間足では上値抵抗帯となっていた 200SMA を実体足で上抜けており、日足では RSI が 30 タッチからの反発上昇局面に入りつつある状況だ。

本日の指標は、8:50 に日・日銀議事要旨公表、17:00 に南ア・BER 消費者信頼感指数、18:00 に独・IFO 景況感指数、21:40 に米・クーグラーFRB 理事の発言、22:00 に米・住宅価格指数、米・S&P/ケースシラー住宅価格、22:05 に米・ウィリアムズ：NY 連銀総裁の発言、23:00 に米・新築住宅販売件数、米・コンファレンスボード消費者信頼感指数、米・リッチモンド連銀製造業指数、25:00 に独・ナーゲル独連銀総裁の発言が予定されている。原油上昇とともに上向いたオセアニア通貨の上伸性に注目したい。

記事番号：20250324

ファイル名

m2025032401

タイトル：もみ合い相場となったポンド円の方向性を静観か

本日のポイント：

英・ベイリーBOE 総裁の総裁の発言

欧・製造業/サービス業 PMI

先週末は、米国市場で主要株価指数3銘柄がそろって上昇となり、株高・金利横ばい・原油安の相場展開となった。原油 WTI は 68.3 ドルまで下落。天然ガスも同様に上値が重くなり、前日から約 0.62% 低下。4.00 ドル台まで値を下げた。主要貴金属5銘柄はパラジウム以外が下落となり、唯一上昇したパラジウムは、前日から 0.91% 上昇。962 ドルを回復した。

為替市場は、ポンドが対円で往って来いとなった。ポンド円は 192.008 から 193.572 の間で推移。時間足 20MA から 200MA が密集した地点でのもみ合い相場となった。4 時間足では下値を 75MA にサポートされており、日足では 20MA に沿ってのアップトレンドが継続している最中だ。米国時間にてポンド円の方向性が明確となるのか、見極めたい。

本日の指標は、17:30 に独・製造業/非製造業 PMI、18:00 に欧・製造業/サービス業 PMI、18:30 に英・製造業/サービス業 PMI、21:30 に米・シカゴ連銀全米活動指数、22:45 に米・PMI 購買担当者景気指数、26:45 に米・ボスティック：アトランタ連銀総裁の発言、27:00 に英・ベイリーBOE 総裁の総裁の発言、28:10 に米・バーFRB 理事の発言が予定されている。もみ合い相場となったポンド円の方向性を慎重に静観したい。

記事番号：20250321

ファイル名

m2025032101

タイトル：上値が限定されたポンド円の回復余地に注目か

本日のポイント

日・全国消費者物価指数

加・小売売上高

昨日は、米国市場で主要株価指数3銘柄がそろって下落となり、株安・金利高・原油高の相場展開となった。原油 WTI は 68.2 ドルまで約 1.4%上昇。一方の天然ガスは前日から 5.2%低下し 3.96 ドルまで値を下げた。主要貴金属5銘柄はすべてが下落となり、特に下げ幅の大きかったプラチナは、前日から 1.53%低下し 989 ドル台まで落ち込んだ。

為替市場は、昨日発表された英・2月雇用統計にて、失業率が 4.6%から 4.7%に 0.1 ポイント悪化したことで、ポンドが対円で下落した。ポンド円は 193.584 から 192.074 まで下落。時間足 200SMA ラインまで低下した。4 時間足では 75MA ラインまで価格が落ち込んでおり、日足では 200SMA に上値をレジストされての反落が入っている。

本日の指標は、6:45 に NZ・貿易収支、8:30 に日・全国消費者物価指数、8:50 に日・対外/対内証券投資、9:01 に英・GFK 消費者信頼感指数、18:00 に欧・経常収支、20:00 に英・CBI 企業動向調査、21:30 に加・小売売上高、22:05 に米・ウィリアムズ：NY 連銀総裁の発言、24:00 に欧・消費者信頼感指数が発表予定となっている。上値が限定されたポンド円の回復余地に注目したい。

記事番号：20250320

ファイル名

m2025032001

タイトル：SNB 前に下落したスイスフランの下伸性に注意か

本日のポイント：

豪・雇用統計

英・BOE 政策金利と声明発表

昨日は、米国市場で主要株価指数3銘柄がそろって上昇となり、株高・金利高・原油高の相場展開となった。原油 WTI は前日から 1.0%上昇。67.2 ドル台まで回復した。天然ガスも同様に上昇しており、前日から 2.95%上昇。4.2 ドルまで値を上げた。主要貴金属5銘柄はまちまちの展開となり、大きく上昇した銅は、前日から 2.3%急騰。5.12 ドル台へと回復した。

為替市場は、本日の SNB 政策金利発表を前に、スイスフランが対円で弱含んだ。フラン円は 171.018 から 169.328 まで下落。時間足ボリンジャーバンド+3 σ から-3 σ まで大きく低下した。4 時間足では下値支持線となっていた 20MA を下抜けており、日足では 200EMA からの反落が入っている。

本日の指標は、9:30 に豪・雇用統計、16:00 に英・雇用統計、独・生産者物価指数、17:00 に欧・ラガルド ECB 総裁の発言、17:30 にスイス・SNB 政策金利と声明発表、18:00 にスイス・シュレーゲル SNB 総裁の記者会見、19:00 に欧・建設業生産高、21:00 に英・BOE 政策金利と声明発表、21:30 に米・新規失業保険申請件数、英・ベイリーBOE 総裁の記者会見、加・鉱工業製品価格、米・経常収支、米・フィラデルフィア連銀景況指数、23:00 に米・景気先行指数、米・中古住宅販売件数が発表予定となっている。SNB 前に下落したスイスフランの下伸性に注意したい。

記事番号：20250319

ファイル名

m2025031901

タイトル：対ユーロで弱含んだ米ドルの回復性を注視か

本日のポイント

米・FOMC 政策金利と声明発表

日・機械受注

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって下落となり、株安・金利横ばい・原油安の相場展開となった。原油 WTI は前日から 1.5%低下し 66.5 ドルまで落下。一方の天然ガスは前日から 1.5%上昇し、4.09 ドルまで回復した。主要貴金属 5 銘柄はまちまちの展開となり、大きく上昇した銅は前日から 0.95%上昇。5.02 ドル台まで伸びた。

為替市場は、昨日発表された米・2 月生産者物価指数 (PPI) が、前年比で前月の 1.9%から 2.0%へ 0.1 ポイント上昇し、市場予想の 1.5%を上振れたにも関わらず、米ドルが対ユーロで下落した。ユーロ米ドルは 1.0893 から 1.0954 まで上昇。時間足 75MA に下値をサポートされての上伸となった。日足では今月高値を更新しており、3 日続伸。昨年 10 月以来の水準に到達している。

本日の指標は、8:30 に豪・westpac 先行指数、8:50 に日・機械受注、日・通関ベース貿易収支、日・鉱工業生産、12:00 前後に日・BOJ 政策金利と声明発表、15:30 に日・植田日銀総裁の記者会見、17:00 に南ア・消費者物価指数、19:00 に欧・消費者物価指数、20:00 に南ア・小売売上高、米・MBA 住宅ローン申請指数、23:30 に米・週間原油在庫、27:00 に米・FOMC 政策金利と声明発表、27:30 に米・パウエル FRB 議長の記者会見が予定されている。対ユーロで弱含んだ米ドルの回復性を注視したい。

記事番号：20250318

ファイル名

m2025031801

タイトル：最弱通貨となった日本円の回復性が見られるのか注意か

本日のポイント

加・消費者物価指数

独・ZEW 景況指数

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって上昇となり、株高・金利安・原油高の相場展開となった。原油 WTI は 67.1 ドルを回復。一方の天然ガスは前日から約 2.09%低下し 4.03 ドル台まで落ち込んだ。主要貴金属 5 銘柄はすべてがプラスとなり、特に上げ幅の大きかったゴールドは、前日から 0.88%上昇。節目の 3,000 ドルを突破し 3,017 ドルまで高騰し最高値を更新した。

為替市場は、日本円がアジア時間終盤から米国時間にかけて弱含み、終日最弱通貨となった。米ドル円は 148.239 から 149.285 まで上昇。時間足ボリンジャーバンド-2 σ から+2 σ へと推移した。4 時間足では 20MA が下値サポートとして機能しており、日足ではレジスタンスとなっていた 20MA を上抜けている。本日のアジア時間でも円安傾向が続いているため、クロス円の上伸性に注意したい。

本日の指標は、13:30 に日・第 3 次産業活動指数、19:00 に欧・ZEW 景況指数、独・ZEW 景況指数、欧・貿易収支、21:30 に加・消費者物価指数、米・住宅着工件数、米・輸入物価指数、22:15 に米・鉱工業生産、米・設備稼働率、26:00 に米・20 年債入札が発表予定となっている。最弱通貨となった日本円の回復性が見られるのか、欧州時間での値動きに注意したい。

記事番号：20250317

ファイル名

m2025031701

タイトル：最強通貨となったオセアニア通貨の上値余地に要警戒か

本日のポイント

中・新築住宅販売価格

米・NY 連銀製造業景気指数

先週末は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって上昇となり、株高・金利高・原油高の相場展開となった。原油 WTI は 67.5 ドルまで約 0.8%上昇。天然ガスも同様に上昇となり、前日から約 2.8%値を上げ 4.1 ドル台を回復した。主要貴金属 5 銘柄はすべてがマイナスとなり、特に下げ幅が目立った銅は、前日から 0.85%低下。4.9 ドルまで値を下げた。

為替市場は、終日オセアニア通貨が強含んだ。NZ ドル円は 84.028 から 85.534 まで上昇。時間足ボリンジャーバンド+2 σ に沿ってのバンドウォークが見られた。4 時間足では 20SMA を上抜けるかの最中におり、日足ではレジストされていた 20MA を実体足で上抜けている。このまま NZ ドルの勢力が維持されるのか、欧州時間で

の値動きに注意したい。

本日の指標は、9:01 に英・ライトムーブ住宅価格、10:30 に中・新築住宅販売価格、11:00 に中・鉱工業生産、中・小売売上高、21:15 に加・住宅着工件数、21:30 に加・国際証券取扱高、米・小売売上高、米・NY 連銀製造業景気指数、23:00 に米・企業在庫、米・NAHB 住宅市場指数が発表予定となっている。最強通貨となったオセアニア通貨の上値余地に十分警戒したい。

記事番号：20250314

ファイル名

m2025031401

タイトル：米国時間で強含んだ日本円の上伸性に注目か

本日のポイント

米・ミシガン大消費者信頼感指数

加・製造業売上高

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって下落となり、株安・金利安・原油安の相場展開となった。原油 WTI は 66.9 ドルまで約 0.85% 低下。天然ガスは比較的穏やかな値動きとなり、4.06 ドル台での横ばい推移となった。主要貴金属 5 銘柄はすべてが上昇となり、特に上げ幅の大きかったシルバーは、前日から 2.38% 上昇。33.8 ドル台まで値を上げた。

為替市場は、日本円が欧州時間から米国時間にかけて最強通貨となった。ポンド円は 192.317 から 190.744 まで下落。時間足 20MA に沿って下降した。4 時間足ではボリンジャーバンド +3 σ からの反落となっており、日足では 75MA に上値をレジストされての価格転換が見られている。

16:00 に独・卸売物価指数、英・月次 GDP、独・消費者物価指数、英・鉱工業生産、英・製造業受注、16:45 に仏・消費者物価指数、21:30 に加・製造業売上高、加・卸売売上高、23:00 に米・ミシガン大消費者信頼感指数が発表予定となっている。米国時間で強含んだ日本円の上伸性に注目したい。

記事番号：20250313

ファイル名

m2025031301

タイトル：米国時間で強含んだ豪ドルの上値余地を静観か

本日のポイント

加・住宅建設許可

米・生産者物価指数

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄のうち 2 銘柄が下落となり、株安・金利高・原油高の相場展開となった。原油 WTI は 67.9 ドルまで約 1.5% 上昇。一方の天然ガスは前日から 7.6% 低下。4.01 ドルまで値を下げた。主要貴金属 5 銘柄はすべてが上昇となり、特に上げ幅の大きかったシルバーは、前日から約 1.2% 上昇し 33.2 ドル台まで高騰した。

為替市場は、資源国通貨が米国時間で強含んだ。豪ドル円は 92.831 から 93.846 まで上昇。時間足 20MA 下位から上位へと移行した。4 時間足では 75MA の上値抵抗帯直下まで価格が伸びており、日足では 2 日続伸している。このまま豪ドルの勢力が維持されるのか、米国時間での値動きに注目したい。

本日の指標は、9:01 に英・RICS 住宅価格、16:30 にスイス・生産者輸入価格、19:00 に欧・鉱工業生産、21:30 に加・住宅建設許可、米・新規失業保険申請件数、米・生産者物価指数、23:30 に米・週間天然ガス貯蔵量、26:00 に米・30 年債入札、26:30 に独・ナーゲル独連銀総裁の発言、翌 6:30 に NZ・製造業 PMI が発表予定となっている。米国時間で強含んだ豪ドルの上値余地を慎重に見極めたい。

記事番号：20250312

ファイル名

m2025031201

タイトル：BOC にて加ドルの上値が重くなるのか指標発表後の値動きに警戒か

本日のポイント

加・BOC 政策金利と声明発表

加・マックレム BOC 総裁の記者会見

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって下落となり、株安・金利高・原油高の相場展開となった。原油 WTI は 66.3 ドルを回復。一方の天然ガスは前日から約 4.0% 大きく低下。4.3 ドルまで値を下げた。主要貴金属 5 銘柄はすべてが上昇となり、大きく上向いたしプラチナは、前日から 2.59% 値を上げ、986 ドルまで急騰した。

為替市場は、本日の政策金利発表を控えた加ドルが対円で上昇した。加ドル円は 101.380 から 102.787 まで上昇。時間足 20MA をまたいでの値動きが見られた。4 時間足ではボリンジャーバンド -2 σ から中心線へと回帰している一方、日足では 10MA に沿っての下落トレンドが継続している。

本日の指標は、8:50 に日・第 1 四半期景況判断 BSI、17:45 に欧・ラガルド ECB 総裁の発言、20:00 に米・MBA 住宅ローン申請指数、21:30 に米・消費者物価指数、22:45 に加・BOC 政策金利と声明発表、独・ナーゲル独連銀総裁の発言、23:30 に米・週間原油在庫、加・マックレム BOC 総裁の記者会見、26:00 に米・10 年債入札、27:00 に米・財政収支が発表予定となっている。BOC にて加ドルの上値が重くなるのか、指標発表後の値動きに警戒したい。

記事番号：20250311

ファイル名

m2025031101

タイトル：続落したクロス円の円高傾向に警戒か

本日のポイント：

日・全世帯家計調査

英・BRC 既存店売上高

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって下落となり、株安・金利安・原油安の相場展開となった。原油 WTI は 65.8 ドルまで約 1.3%下落。天然ガスにいたっては前日から 3.9%低下。4.4 ドルまで値を下げた。主要貴金属 5 銘柄はすべてが下落となっており、特に下げ幅の大きかったシルバーは、前日から 0.97%下落。32.1 ドルまで値を下げた。

為替市場は、全般的に円高傾向となり、米ドルが対円で下落した。米ドル円は 147.851 から 146.639 まで下落。時間足 20MA に沿っての下降が見られた。4 時間足では 10MA に上値をレジストされており、日足ではボリンジャーバンド-2 σ まで価格が停滞している。このまま米ドルが対円で軟化していくのか注視したい。

本日の指標は、8:30 に日・全世帯家計調査、豪・westpac 消費者信頼感指数、8:50 に日・実質 GDP 二次速報値、日・GDP デフレータ、日・マネーストック、9:01 に英・BRC 既存店売上高、9:30 に豪・NAB 企業景況感、15:00 に日・工作機械受注、19:00 に米・NFIB 中小企業楽観指数、23:00 に米・JOLTS 求人件数、26:00 に米・3 年債入札が発表予定となっている。続落したクロス円の円高傾向に警戒したい。

記事番号：20250310

ファイル名

m2025031001

タイトル：米国時間で強含んだユーロの上伸性を注視か

本日のポイント：

日・景気動向指数

独・鋳工業生産

先週末は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって上昇となり、株高・金利高・原油高の相場展開となった。原油 WTI は 67.0 ドルまで約 1.1%ほど上昇。天然ガスにいたっては前日から約 2.9%上昇。4.39 ドルまで値を上げた。主要貴金属 5 銘柄はまちまちの展開となり、大きく低下した銅は、前日から 1.39%下落。4.71 ドルまで落ち込んだ。

為替市場は、7 日に発表された独・1 月製造業新規受注が前年比で前月のマイナス 6.3%からマイナス 2.6%に改善したことで、ユーロが欧州時間から米国時間にかけ最強通貨となった。ユーロ円は 159.271 から 160.754 ま

で上昇。時間足 75MA に下値をサポートされて値を上げた。4 時間足では 200SMA が下値支持線となっており、日足では RSI が 58 まで回復している。

本日の指標は、8:30 に日・毎日勤労統計、8:50 に日・国際収支、14:00 に日・景気動向指数、15:00 に日・景気ウォッチャー、16:00 に独・鉱工業生産、独・貿易収支、22:00 に独・ナーゲル独連銀総裁の発言、翌 6:45 に NZ・製造業活動が発表予定となっている。米国時間で強含んだユーロの上伸性を慎重に見極めたい。

記事番号：20250307

ファイル名

m2025030701

タイトル：強含んだスイスフランが米国時間でも躍進するのか注目か

本日のポイント：

米・ボウマン FRB 理事の発言

独・製造業受注

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって下落となり、株安・金利安・原油安の相場展開となった。原油 WTI は 66.4 ドルまで低下。天然ガスも同様に下落し、前日から 2.25% 低下。4.26 ドル台で推移した。主要貴金属 5 銘柄はまちまちの展開となり、下落が目立ったパラジウムは、前日から 0.47% 低下。949 ドルまで値を下げた。

為替市場は、スイスフランが米国時間で最強通貨となった。米ドルフランは 0.8925 から 0.8825 まで下落。時間足 10MA に沿っての下落トレンドが発生した。4 時間足では RSI が 26 まで低下しており、日足では 200SMA 直下まで下落。下値・上値を切り下げてのトレンドが見られた。

本日は、16:00 に独・製造業受注、英・ハリファックス住宅価格、18:30 に欧・ラガルド ECB 総裁の発言、独・ナーゲル独連銀総裁の発言、22:30 に加・雇用統計、米・雇用統計、24:15 に米・ボウマン FRB 理事の発言、24:45 に米・ウィリアムズ：NY 連銀総裁の発言、26:20 に米・クーグラール FRB 理事の発言、26:30 に米・パウエル FRB 議長の発言、27:30 に米・トランプ大統領の発言が発表予定となっている。強含んだスイスフランが米国時間でも躍進するのか注目したい。

記事番号：20250306

ファイル名

m2025030601

タイトル：利下げ予想のユーロの値動きに注意か

本日のポイント

欧・ECB 政策金利と声明発表

欧・ラガルド ECB 総裁の記者会見

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって上昇となり、株高・金利高・原油安の相場展開となった。原油 WTI は 66.8 ドルまで約 1.1%下落。一方の天然ガスは前日から約 2.2%上昇し、4.4 ドル台まで回復した。主要貴金属 5 銘柄はすべてが上昇となり、特に上げ幅の大きかった銅は、前日から約 5.2%上昇。4.80 ドル台まで値を上げた。

為替市場は、本日の欧・ECB 発表を前にユーロが対円で上昇した。ユーロ円は 4 日続伸。158.725 から 160.723 まで値を上げた。4 時間足ではすでにレジスタンスとなっていた 200SMA ラインを突破しており、日足では先月高値付近まで急騰している。このままユーロが米国時間でも強含んでいくのか注視したい。

本日の指標は、9:30 に豪・貿易収支、豪・住宅建設許可、18:30 に英・建設業 PMI、20:00 にトルコ・TCMB 政策金利と声明発表、22:15 に欧・ECB 政策金利と声明発表、22:30 に加・貿易収支、米・新規失業保険申請件数、米・貿易収支、22:45 に欧・ラガルド ECB 総裁の記者会見、米・ハーカー：フィラデルフィア連銀総裁の発言、24:00 に加・Ivey 購買部協会指数が発表予定となっている。0.25%利下げが予想されている中での指標発表前後のユーロの値動きに注意したい。

記事番号：20250305

ファイル名

m2025030501

タイトル：強含んだユーロが他通貨に対し勢力を維持するのか静観か

本日のポイント：

日・三村財務官の発

米・地区連銀経済報告（ベージュブック）

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって下落となり、株安・金利高・原油安の相場展開となった。原油 WTI は 67.6 ドルまで低下。一方の天然ガスは前日から約 4.6%上昇。4.30 ドル台まで値を上げた。主要貴金属 5 銘柄はまちまちの展開となり、大きく上昇したシルバーは、前日から 1.06%上昇。32.0 ドル台を回復した。

為替市場は、ユーロが一昨日に続いて米国時間で最強通貨となった。ユーロ円は 155.588 から 159.177 まで上昇。時間足 20MA 下位から上位へと移行した。4 時間足では 200SMA のレジスタンスラインまで価格が伸びており、日足では下値を切り上げてのダブルボトムを形成している。このままユーロの伸びが加速するのか注目したい。

本日の指標は、9:00 に日・植田日銀総裁の発言、9:30 に豪・第 4 四半期 GDP、10:30 に日・内田日銀副総裁の発言、13:45 に日・三村財務官の発言、16:30 にスイス・消費者物価指数、16:45 に仏・鉱工業生産、18:30 に英・非製造業 PMI、19:00 に欧・生産者物価指数、21:00 に米・MBA 住宅ローン申請指数、22:15 に米・ADP 雇用統

計、22:30 に加・労働生産性指数、24:00 に米・ISM 非製造業景況指数、28:00 に米・地区連銀経済報告（ページブック）が発表予定となっている。強含んだユーロが他通貨に対し勢力を維持するのか慎重に見極めたい。

記事番号：20250304

ファイル名

m2025030401

タイトル：英・製造業 PMI 回復で上昇したポンド円の上伸性に注目か

本日のポイント：

日・雇用統計

仏・財政収支

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって下落となり、株安・金利安・原油安の相場展開となった。原油 WTI は 68.2 ドルまで低下。一方の天然ガスは 10.1% 上昇し、4.14 ドル台まで値を上げた。主要貴金属 5 銘柄はすべてが上昇。特に上げ幅の大きかったパラジウムは、前日から 2.48% 上昇。949 ドル台で推移した。

為替市場は、昨日発表された英・2 月製造業 PMI が、前月の 46.4 から 46.9 に上振れたことで、ポンドが対円で上昇した。ポンド円は 188.834 から 191.948 まで上昇。時間足 20MA 下位から上位へと移行した。4 時間足では上値抵抗帯として機能していた 200SMA を上抜けており、日足ではボリンジャーバンド +3 σ までローソク足が伸びている。

本日の指標は、6:45 に NZ・住宅建設許可、8:30 に日・雇用統計、8:50 に日・第 4 四半期設備投資、日・マネタリーベース、9:30 に豪・経常収支、豪・小売売上高、韓・製造業 PMI、豪・RBA 議事録公開、14:00 に日・消費者態度指数、16:45 に仏・財政収支、18:30 に南ア・実質 GDP、19:00 に欧・雇用統計、28:20 に米・ウィリアムズ：NY 連銀総裁の発言が発表予定となっている。英・製造業 PMI 回復で上昇したポンド円の上伸性に注目したい。

記事番号：20250303

ファイル名

m2025030301

タイトル：反発上昇したユーロ円の上伸性に注目か

本日のポイント：

欧・消費者物価指数

独・製造業 PMI

先週末は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって上昇となり、株高・金利安・原油安の相場展開となった。原油 WTI は 69.8 ドルまで低下。天然ガスにいたっては約 3.0%低下し、3.81 ドル台まで値を下げた。主要貴金属 5 銘柄はパラジウム以外が下落となり、唯一上昇したパラジウムは、前日から約 0.36%反発。916 ドル台で推移した。

為替市場は、2 月 28 日に発表された独・2 月雇用統計にて、失業率が前月の 6.2%と変わらなかったことで、ユーロが対円で反発した。ユーロ円は 154.799 から 157.157 まで上昇。時間足ボリンジャーバンド-2 σ から+2 σ まで回復した。4 時間足では直近高値を更新しており、日足では RSI が 30 に到達せずに反発している。

本日の指標は、9:30 にインドネシア・製造業 PMI、マレーシア・製造業 PMI、タイ・製造業 PMI、13:00 にインドネシア・消費者物価指数、14:00 に印・製造業 PMI、16:00 にトルコ・製造業 PMI、トルコ・消費者物価指数、17:30 に香港・小売売上高、スイス・製造業 PMI、17:50 に仏・製造業 PMI、17:55 に独・製造業 PMI、18:00 に欧・製造業 PMI、18:30 に英・製造業 PMI、19:00 に欧・消費者物価指数、23:45 に米・PMI 購買担当者景気指数、24:00 に米・ISM 製造業景気指数が発表予定となっている。反発上昇したユーロ円の上伸性に注目したい。

記事番号：20250228

ファイル名

m2025022801

タイトル：5 日続落している豪ドル米ドルの下値余地に要警戒か

本日のポイント：

日・東京消費者物価指数

独・雇用統計

昨日は、米国市場で主要株価指数 3 銘柄がそろって下落となり、株安・金利安・原油高の相場展開となった。原油 WTI は節目の 70 ドルを回復。一方の天然ガスは前日から約 1.46%低下となり、3.91 ドル台まで落ち込んだ。主要貴金属 5 銘柄は銅以外が下落となり、大きく低下したプラチナは前日から約 1.8%低下。954 ドル付近で推移した。

為替市場は、米国時間にかけてオセアニア通貨が最弱となった。豪ドル米ドルは 0.6314 から 0.6230 まで下落。時間足 20MA に沿っての下降トレンドが継続した。4 時間足では下値支持線となるかに見られた 200SMA をためらうことなく下抜けており、日足では 5 日続落している。このままオセアニア通貨の下値が更新されるのか、慎重に静観したい。

本日の指標は、8:30 に日・東京消費者物価指数、8:50 に日・鉱工業生産、日・小売業販売額、日・対外/対内証券投資、10:00 にフィリピン・貿易収支、16:00 に英・ネーションワイド住宅価格、トルコ・雇用統計、16:30 にタイ・貿易収支、16:30 にスイス・小売売上高、16:45 に仏・消費者物価指数、17:00 にスイス・KOF スイス先行指数、17:55 に独・雇用統計、19:30 に印・実質 GDP、22:00 に独・消費者物価指数、22:30 に加・実質 GDP、米・個人所得、米・PCE デフレーター、米・卸売在庫、23:45 に米・シカゴ購買部協会景気指数が発表予定となっている。5 日続落している豪ドル米ドルの下値余地に十分警戒したい。